

## Column

### インバスケの知られざる魅力～模擬体験の効果～

インバスケは能力測定や教育をするツールだと思われがちです。実はインバスケにはもう1つ大事な側面があります。それは「模擬体験」です。

部下がいない方に、部下を持った時の模擬体験をしていただいたり、管理者登用前の方に、管理者の模擬体験をしていただくことで素晴らしい効果を得ることができるのです。

模擬体験をすることで、その仕事の面白さ、醍醐味を知ることができます。よく見るとインバスケ問題集には、その仕事ならではのやりがいのある案件も必ず入っています。

また、管理職になりたくない方が増えていますが、それは食わず嫌いと同じで、実際にやってみないと本当にやりたくないことかどうかは分からないのです。

さらに模擬体験をすることで、上司の立場に立って物事を見ることができるようになります。「あー。上司の言っていることが初めて分かった」このような声を研修後に聞くこともあります。

ぜひ皆さん自身も、そして部下の方にも模擬体験としてインバスケを活用してみてください。



株式会社インバスケ研究所  
代表取締役社長 鳥原隆志

## 知っているようで知らない インバス 豆知識! その①

### 制作期間3ヵ月!? 問題集ができるまで

インバスケ問題集を1冊作るまで、どのくらいの時間がかかっていると思いますか? 実は…骨組みを考えるとところからリリースまで、約3ヵ月もかかっています。取り組んでいただくお客様に主人公になりきってもらうため、問題の内容について会議で何度も議論します。登場人物の名前や商品名なども「実際にありそうか?」「違和感がないか?」を徹底的にこだわり抜いています。



▲インバスケ研究所 大阪本社の様子

## 今月のミニ問題

以下の中で、インバスケ研究所の販売している問題集にない主人公の設定はどれ?

- |               |           |
|---------------|-----------|
| 1. 洋菓子製造会社    | 4. 船舶販売会社 |
| 2. コンビニエンスストア | 5. 玩具製造会社 |
| 3. 文具販売会社     |           |

## 解説



解説は...  
次のページへ

インバケット研究所と関わりの深い方々をご紹介します！

## interview サポーターズインタビュー

中川 紀篤様 コンフォートゾーン研究所所長



ご担当されている業務を含めて自己紹介をお願いします。

2010年の立ち上げより日経ビジネス課長塾のプログラム開発をしています。また私自身も研修講師として管理職の「対話力」を養成

しています。

インバケット研究所との出会いを教えてください。

書店で鳥原さんの著書をよく見かけるようになりました。確か3冊目を出された時に鳥原さんにご連絡をして、課長塾での登壇をお願いしました。

インバケット研究所はどんな会社だと思いますか？

インバケットの魅力を広め、距離感を縮めてくれた会社。若手にどんどん任せる会社。鳥原さんのぶれない芯がそれを実現していると思います。

インバケットの魅力は何だと思いますか？

リーダーとしてのあり方ややり方には正解はないとはいえ、手探りではがちが明きません。そこに10の基準を設けてあることで、現状と課題を明確にできることです。

課長塾での受講者の反応はどうでしょうか？

一様にショックを受けています（笑）。自分はもう少しできると思っていた、と。一方でそれをきっかけに自分の日常の考え方のクセに気づかれて、ハッとされる方が多いです。

印象に残っている受講者の反応はありますか？

グループワークの途中で鳥原さんから「みなさんのアウトプットにがっかりしている。視点が虫の目だ。」と言われると、毎回クラスが水を打ったように静寂になります（笑）

### 課長塾とは

株式会社日経BPが開催する管理職・リーダー層向けの講座。エンジニア版や女性マネージャー版などもある。

## 知っているようで知らない インバス 豆知識！その②

### こんなところでもインバケット！？

実はインバケットはビジネスの場だけではなく、大学や農業業界でも注目されています！大阪経済大学で当社代表の鳥原が講演を行ったり、JAグループの出版・文化団体が発行するオピニオン誌『地上』などにも特集で取り上げていただきました。7月1日(月)発売の『地上』8月号にも、インバケット特集第2弾が掲載される予定です。見かけられた方はぜひご一読ください。



▲JAグループ『地上』6月号特集「モチベアップの根回し術」

## 今月のミニ問題

### 解説

正解は… **5. 玩具製造会社** でした！ありそうな設定ですが、実はまだ作られていないのです。

ちなみに1の洋菓子製造会社は書籍『究極の判断力を身につけるインバケット思考』にも載っている当社で一番人気の問題集TAMA、2のコンビニエンスストアは問題集AP、3の文具販売会社は問題集のQ、4の船舶販売会社は問題集TSでした。他にもたくさんの種類がありますので、ぜひ教材サイトをご覧ください。



個人用教材サイト  
『インバス！』▼



趣味や休日の過ごし方を教えてください。

ライブ鑑賞やスポーツ観戦が大好きです。特にサッカーのセレッソ大阪のサポーターなので、時間さえあればスタジアムに足を運んでいます。あとは4歳の息子と遊ぶことが多いですね。

開発グループはどんな部署ですか？

アイデア集団だと思います。開発グループでは、従来のインバケットツールだけではなく、新しいインバケットツールを作ることが求められています。それぞれが異なる考え方やアイデアを出し合い、それらを掛け合わせて素晴らしいコンテンツを作り出しています。

インバケットツール開発の難しいところ、楽しいところについて教えてください。

楽しいことは、開発しているインバケットツールが、商品として形になり、それが受講生の気付きや考え方・行動の変化に繋がる瞬間を目の当たりにできることです。難しいことは、山のようにあります(笑)特に難しいのは面白さの追求です。教材だからといって、辛いだけでは学びに繋がらばいいと思います。持論ですが「人間は楽しくないと物事が身につかない」。これが難しい。いかに面白く、かつ気づきのあるツールを作るのかは永遠の課題かもしれませんね。



上司として心掛けていること・大切にしていることを教えてください。

部下が25名いるんですが、最も心がけているのは、自由に発言できる、明るい雰囲気をつくることです。発言やアイデア出しがしにくい部署だと良いものも完成しません。また、何も発言できずに、静かで暗い雰囲気だと、仕事が楽しくなくなりますし、何より成長の速度も遅くなると考えているからです。

インバケットの魅力について語ってください。

「人の行動や考え方を劇的に変えるツール」というのが一番の魅力だと思います。インバケットを使うと、普段の仕事の中で持っている漠然とした悩み、あるいは自分では気づいていない強みや弱みに強烈に気付くことができます。他者のおしつけではなく、自分自身が気づくので、行動変革につながっていきやすいのです。私は人が、インバケットを使って変わっていく場面を多く見てきました。この変わっていくさまはインバケットを扱う者として、非常に感動的で、これこそがインバケットの魅力ですね！

## Event イベント情報

### 毎年恒例！「スーパーまならぼ」2019開催

インバケットが好きなファンの方が集う2ヵ月に1回開催の「まならぼ(旧インバケットの会)」。7月は年に1回の「スーパーまならぼ」です。普段の「まならぼ」と違う点は2つ。1つ目は懇親会でBBQを行います！ちなみに去年はたこ焼きパーティでした。もう1つは、いつもの2倍指摘が厳しくなります。楽しみです！

開催日：2019年7月20日(土)

日時：14:00～17:00(懇親会17:30～)

参加費：勉強会 3,500 円(税込)

懇親会 4,000 円(税込)

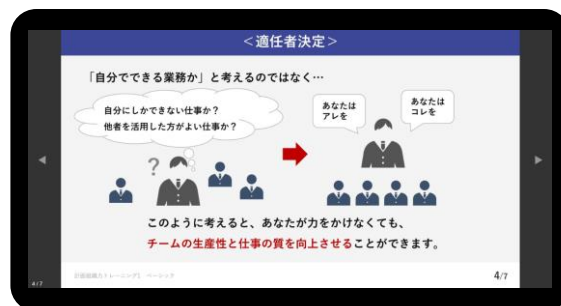


▲2017年「まならぼ(旧インバケットの会)」の懇親会の様子



## 「インバスケettラーニング」誕生！

2019年7月1日に当社初のインバスケettラーニングをリリースいたします。1単元約5分でサクサクと学習することができます。また、PCだけでなくスマホやタブレットからでも受講できるため、通勤中の電車内での学習が可能です。これまでは1時間机に向かわなければできなかったインバスケettですが、今回のeラーニングは忙しいビジネスマンの方にも手軽にトレーニングしていただくことができます！お申込みやお問い合わせは、このページの下に記載されているメールアドレス(houjin@inbasket.co.jp)までご連絡ください。



▲アニメーション付きのイラストで分かりやすく解説



【独自性部門】

## 第2回 学生が選ぶインターンシップアワードノミネート！

株式会社マイナビが主催し、学生の社会的・職業的自立に貢献したインターンシッププログラムを表彰する「学生が選ぶインターンシップアワード」第2回の、独自の取り組みや工夫を評価する「独自性」部門に当社がノミネートされました！ノミネートの理由となったプログラムは、昨年の当社新入社員3名が企画・開発したものです。一番の目玉はインバスケett×すごろくの発想から生まれた「インバスケettボードゲーム」！就活生の悩みを解決するべく、楽しみながら自己分析できるようにしたいという思いから開発されました。今秋の展示会ではさらにバージョンアップしたものを体験いただける予定です！

# 16

編集後記

### 今号から広報誌リニューアルです！

4月から広報担当になりました、高津です。今号の広報誌からボリュームアップということで、デザインを一新させていただきました。みなさまに楽しんでお読みいただけるよう、毎号アップデートしていきたいと思っておりますので、ぜひご意見・ご感想などあれば下記までお教えてくださいませ。インタビューされた！というお声もお待ちしております！

SNSも更新中！  
フォロー&いいね  
宜しくお願いします！



@inbasket\_Lab



@inbasket



**INBAS**  
インバスケett研究所

発行元：株式会社インバスケett研究所  
カスタマーサポートグループ  
メール：houjin@inbasket.co.jp



データ版はこちらから↑